

2021年度 認定講習会カリキュラム変更のご案内

日本獣医輸血研究会では 2019 年より学術講習会を開催して参りましたが、このたび、JSVTM 認定輸血コーディネーター設立にあたり、認定講習会カリキュラムの見直しを行わせて頂きました。その結果、過去の受講履歴につきまして、以下にお示しするように、旧カリキュラムを新カリキュラムにて対応する項目の受講履歴として読み替えさせて頂くことと致しました。既に受講して頂きました皆様にはご迷惑をおかけして誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解頂けますようお願い申し上げます。

<旧項目>

| | | |
|---------|---|----------------------|
| 輸血用血液準備 | 1 | 輸血用血液製剤作製のための設備 |
| | 2 | 設備の導入方法 |
| | 3 | 輸血用採血パックの使用方法 |
| | 4 | 輸血用血液の採血方法 |
| | 5 | クロスマッチ用セグメントチューブ作製方法 |
| | 6 | 献血動物選定の指針 |
| | 7 | 血液製剤の情報管理 |
| 輸血方法 | 1 | 血液型検査 |
| | 2 | クロスマッチテスト |
| | 3 | 適応疾患の最終確認 |
| | 4 | 輸血用血液製剤 |
| | 5 | 輸血同意書の準備 |
| | 6 | 輸血準備 |
| | 7 | 輸血量、速度の設定方法 |
| | 8 | 輸血モニタリング |
| 副反応 | 1 | 副反応の種類 |
| | 2 | 副反応への対処 |
| 血液の保存 | 1 | 血球成分の保存法 |
| | 2 | 血漿成分の保存法 |
| | 3 | 血液の取扱い |
| | 4 | 血液製剤の分割使用 |



<新項目>

| 項目番号 | 大項目 | 小項目 |
|------|---------------|------------------|
| 1 | 血液製剤の種類と作成 | 輸血用血液製剤の種類と作製法 |
| | | 輸血用血液製剤作製のための設備 |
| 2 | 血液製剤の取り扱いと保存 | 血液製剤の情報管理 |
| | | 血液製剤の保存方法 |
| 3 | ドナーからの採血と管理 | ドナー選定の指針 |
| | | ドナーからの採血法と採血後の管理 |
| 4 | 輸血関連検査 | 血液型判定 |
| | | クロスマッチ試験 |
| 5 | 輸血の適応疾患と限界 | 血球の補充を目的とする疾患 |
| | | 血漿成分の補充を目的とする疾患 |
| 6 | 血液製剤の投与方法 | 血液製剤の使用法 |
| | | 輸血モニタリング |
| 7 | 輸血副反応 | 輸血副反応の種類 |
| | | 輸血副反応の対処法 |
| 8 | 輸血に関連する院内システム | 献血システムの構築方法 |
| | | 輸血のリスクマネジメント |

● 過去の講習会対応項目

(1) 第1回学術講習会 2019年5月29日

- 輸血用血液製剤作成のための設備 →新項目 1
- 設備の導入方法 →新項目 1
- 輸血用採血パックの使用方法 →新項目 3
- 輸血採血方法～失敗しないテクニック～ →新項目 3
- クロスマッチ用セグメントチューブの作製方法 →新項目 3
- 輸血副反応の種類 →新項目 7
- 輸血副反応の対処法 →新項目 7
- 献血対象動物の指針 →新項目 3
- 献血システム構築の歴史 →新項目 3

(2) 第2回学術講習会 2019年12月4日

- 血液型検査 →新項目 4
- クロスマッチ検査 →新項目 4
- 適応疾患かの最終確認 →新項目 5
- 輸血に関する書類・同意書 →新項目 8

(3) 第3回学術講習会 2020年11月20日-12月16日

- 輸血用血液製剤 →新項目 1
- 輸血準備 輸血量・速度の設定 →新項目 6
- 輸血モニタリング →新項目 6